…メス



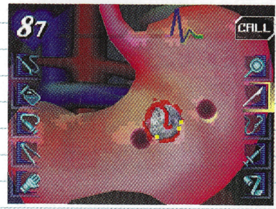
メスは皮膚の切開や腫瘍の切断、スキャナで見つけた病巣を露出させるときなどに使用する。切開の必要がある部分には、切開マーカーという黄色い点が表示される。点にタッチすることで、その部分を切ることが可能だ。

基本的には、切開マーカーに沿ってタッチペンをスライドさせて切開していく。直線状のマーカーは一筆書きでスライドさせないとミスになってしまうが、円や三角形のマーカーは、一筆書きで切らなくてもミスにはならないことを覚えておこう。ただし、切開マーカーがあっても周囲が人体の場合、マーカーから大きく外れた場所を切るとバイタルが低下。また、メスを持った状態で切開マーカーのない場所をスライドさせると臓器が切れてしまうので、注意すること。

おもな用途 皮膚や腫瘍、膜の切断

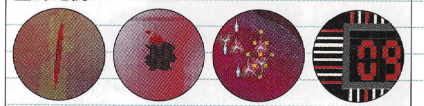


直線の切開時はペンを離さないこと。少しでもマーカーが残っているとミスになる。



腫瘍や膜は、切り残した切開マーカーにあとからタッチしても切ることができる。

■対処例



皮膚　腫瘍　膜　コード

…縫合キット

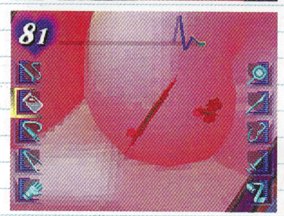


切開した傷や出血創、吻合した血管を縫い合わせるときに使用する針と糸のセット。患部の端にタッチし、傷口を塞ぐように一筆書きで反対側の端までジグザグにスライドさせよう。裂傷縫合時は途中でペンを離してもミスにはならないが、大きく切開した部分の縫合では、縫合しきれていないのに途中でペンを離すとミスになるので注意。また、縫合部分をオーバーして縫ったり、間隔が広すぎてもアウト。だいたい5~7回折り返す程度で縫合するといいだろう。

おもな用途 裂傷や切開口を閉じる

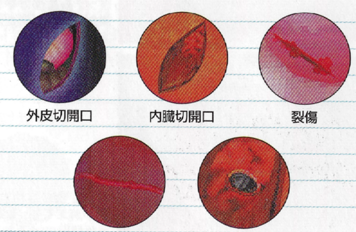


特殊な縫合として人工弁の縫合があるが、片輪郭を縫う必要はない。ジグザグ縫いでOK!



写真右程度の傷はヒールゼリーで治療できるが、左くらいの大きさの傷は縫合で治していく。

■対処例



外皮切開口　内臓切開口　裂傷

血管　人工弁

…注射器



注射器は、バイタルを上昇させる回復剤や炎症を抑える消炎剤、寄生体を弱らせるワクチンなどの薬を投与する際に使用していく。注射器を選択すると、画面右下にその手術で必要となる薬剤群が表示される。薬が表示されたら使用したい薬の上をタッチし、そのまま上にペンをスライドさせれば注射器に薬剤が注入される。注入後は注射したい場所をタッチし続け、薬剤を投与しよう。なお、吸い上げる量はスライドの長さをかえることで調整可能。長くスライドさせれば多量の薬剤を注入できる。

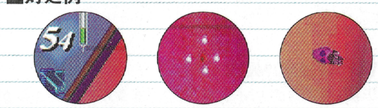
おもな用途 薬剤の投与



画面右下に手術に必要な薬剤が表示される。使いたい薬剤の上をタッチし、そのままスライドさせよう。

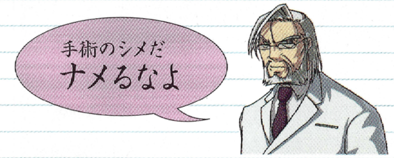
薬剤を注入したら注射したい部分にタッチ。回復剤は人体であれば、どこに注射してもかまわない。

■対処例



バイタル回復　炎症鎮静　寄生体

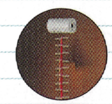
…保護テープ



手術のシメ、最後の処置に使う保護テープ。縫合が終わった傷口に貼って仕上げを行なう。まずは、縫合痕の始点にタッチ。そのまま縫合痕をなぞるようにペンをスライドさせ、傷が隠れたあたりでペンを離せば処置終了。長すぎても短すぎてもミスとなるので注意。テープの両端から少し傷がのぞく程度でもCOOLは取れる。

おもな用途 手術の仕上げ。切開痕の保護

■対処例



仕上げ



テープは上から貼っても下から貼ってもかまわない。貼りやすいほうから貼ろう。

…コールサイン

手術中、手術助手からアドバイスがあるときに出現するコールサイン。このサインにタッチするかAボタンを押すと、上画面に情報が表示される。コールサインのなかには、タッチしなければ手術を続行できないものと、タッチしなくても手術を続けられるものがある。前者の場合は時間のカウントも止まるが、後者の場合はカウントが止まらないことを覚えておこう。



手術の手を止めるコールサイン。これをどうさばくかが、腕の見せどころとなる日も。